

「反応拡散系のパターン形成とその応用」

日程：2019年2月16日(土)，17日(日)

場所：岡山大学 津島キャンパス 理学部2号館 第9講義室(4階)

世話人：谷口雅治(岡山大学)，下條昌彦(岡山理科大学)，物部治徳(岡山大学)

プログラム

2月16日(土)

13:30 – 14:20 - 倉田 和浩 (首都大学東京)

“Existence and stability of one-peak symmetric stationary solutions for the Schnakenberg model with heterogeneity”

14:30 – 15:20 - 松澤 寛 (沼津高専)

“Asymptotic profiles of solutions and propagating terrace for a free boundary problem of nonlinear diffusion equation with positive bistable nonlinearity”

15:40 – 16:30 - 三浦 岳 (九州大学)

「頭蓋骨縫合線のパターン形成」

16:40 – 17:30 - 栄 伸一郎 (北海道大学)

「質量保存則を持つ反応拡散系におけるパルスの運動」

2月17日(日)

9:30 – 10:20 - 須志田 隆道 (北海道大学)

「反応拡散方程式による網膜情報処理の階層モデルと残像錯視」

10:30 – 11:20 - 中村 健一 (金沢大学)

「双安定型反応拡散系の単調な進行波」

数学相談・昼食休憩

12:30 – 13:20 - 出原 浩史 (宮崎大学)

“Spatio-temporal coexistence in the cross-diffusion competition system”

13:30 – 14:20 - 村田 実貴生 (東京農工大学)

「反応拡散系のセル・オートマトン化」

本研究集会は，文部科学省委託事業 AIMaP(受託拠点: 九州大学 IMI)，岡山大学異分野基礎科学研究所の共催により運営されています。